

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	LIFETASK 月岡			
○保護者評価実施期間	7年 12月 1日		～	7年 12月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	7年 12月 1日		～	7年 12月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	清潔で心地よい空間を保ち子ども一人ひとりの活動内容や特性に応じて環境を整えることで、安心して過ごせる居場所を提供している。	子ども一人ひとりの障害特性や身体状況に応じて、動線や設備、配置を工夫し、安全で安心して活動できるバリアフリー環境づくりを意識的に行っている。	子どもの成長や特性の変化に合わせて、設備や空間の使い方を定期的に点検・見直しし、より安全で過ごしやすい環境づくりを進めていく。
2	こどもの特性や状況を十分に理解したうえで、保護者と丁寧に情報共有を行い、ニーズや課題を客観的に分析した個別支援計画を作成している。	子どもの興味関心や成長段階に応じて、活動内容を定期的に見直し、固定化しないよう工夫することで、意欲的に参加できるプログラムを提供している。	職員間で活動内容の振り返りを行い、子どもの反応や達成状況を踏まえてプログラムを改善し、多様な経験ができる活動の充実を図る。
3	日々の活動やかかわりを通して子どもが安心感と楽しさを感じられる支援を行い、「また来たい」「通うのが楽しみ」と思える事業所づくりができています。	子どもや保護者からの相談・申し入れに対する窓口や体制を整備するとともに、相談があった際には迅速かつ適切に対応することを心がけている。	日常的な連絡や保護者の声をより丁寧に把握するとともに、相談しやすい雰囲気づくりと迅速なフィードバックに努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在、放課後児童クラブや児童館など、地域の子どもたちと交流しながら活動する機会が十分とはいえ今後さらなる連駅の検討が必要である。	日々の支援や、安全管理を優先する中で、地域交流や家族支援に向けた新たな取組まで十分に回っていない状況がある。	職員の業務負担を考えながら、無理のない範囲で地域交流や家族支援を取り入れられるよう、役割分担や実施機関を工夫し、段階的な実施を検討していく。
2	家族向けの支援プログラムや、保護者・家族も参加できる研修会、情報提供の機会について、現時点では十分に実施できていない状況である。	放課後児童クラブや児童館との連携について具体的な調整や協力体制の構築がこれからの段階であり、交流機会の創出に至っていない。	放課後児童クラブや児童館等の地域資源について情報収集を行い、少人数での交流や行事への参加など実現可能な形から連携を進めていく。
3	保護者会や父母会等の開催による保護者同士の交流の場や兄弟向けのイベントを通じた交流の機会が少なく、家族全体への支援の充実が課題となっている。	家族支援プログラムや保護者・きょうだい向けの取組について、実施方法や内容の検討が十分にできておらず、計画的な実施につながっていない。	保護者向けの情報提供や意見交換の場を設けるとともに、きょうだいも参加できる行事や研修会などを検討し家族全体を支える支援の充実を図っていく。